

序 文

本報告は従業員類型別教育訓練研究の初年度に取り上げたテーマである“中年期のための向上訓練コース開発”研究の続編である。

本研究は生産現場における従業員問題の性質にしたがって、訓練ニーズをとらえ、訓練方法、カリキュラム、教科書・教材などを含め、訓練コースをシステムとして設計することを目的としている。

初年度は中年期熟練技能者が新技術とのミスマッチを起こさないために、既に身につけた技能をとらえなおし、高齢化に伴う技量の衰えを指導力、判断力の向上によってカバーし、中年期からの高齢化対策として“技能クリニック手法”を取り入れた「旋盤加工技能クリニック」コースの有効性を調査し、地域企業に受け入れられることを明らかにした。

今年度はコース実践のために、企業ニーズの把握、訓練内容、訓練方法について細部にわたり検討した。本報はその実践報告である。本報告が今後の職業能力開発の実践面において一助となるならば幸いである。

研究活動にあたって貴重な御意見を頂いた次の方々に厚く謝意を表す次第であります。

阿部 猛（阿部精工株式会社）	中村 和夫（中村製作所株式会社）
坂東日出彦（横河電機株式会社）	星 昌宏（三和テッキ株式会社）
松下 慶磨（松下製作所株式会社）	望月 英良（中家製作所株式会社）
山梨県内機械系企業各社	山梨技能開発センター

昭和63年3月

職業訓練研究センター
所長 多賀谷敏夫

研究メンバー

1. 研究委員

渡井 道輔（山梨技能開発センター 機械科）
相川 文英（山梨技能開発センター 機械科）
大崎 晃（山梨技能開発センター 機械科）
原 勝仁（山梨技能開発センター 機械科）
古郡 大睦（山梨技能開発センター 機械科）
保坂 財（山梨技能開発センター 機械科）
柳川 弘志（山梨技能開発センター 機械科）

2. 職業訓練研究センター

開発研究部

若林 俊治（建設木工系訓練研究室室長）
柿栖 昇（建設木工系訓練研究室研究員）
八木 高行（手工職種系訓練研究室研究員）
木村 陽一（機械系訓練研究室研究員）

基礎研究部

戸田 勝也（訓練適応研究室室長）
小原 哲郎（訓練需要研究室研究員）
北垣 郁雄（訓練教科方法研究室研究員）

調査研究資料

第 86 号

中年期のための向上訓練コース開発

～旋盤加工技能クリニック～

発行	1988年 3月
発行者	職業訓練研究センター 所長 多賀谷 敏夫 〒229 神奈川県相模原市相原1960 電話 0427-61-9911 (代)
印刷	株式会社 相模プリント 神奈川県相模原市東橋本 1-14-17 電話 0427-72-1275 (代) FAX 0427-74-1913